

## 【用語解説】

ここに示す用語解説は、インフォテリア株式会社が提供する資料内での意味を説明するものであり、必ずしも一般的な用法用例を包含するとは限りません。また、「解説・定義」中の※印はさらに他の用語を参照していることを示しています。（アルファベット、50音順）

用語	解説・定義
BtoB (ビー・ツー・ビー)	<b>Business to Business</b> の略。元来は企業間商取引全体を指すが、特に「BtoB」と略された場合には、インターネットを使用した企業間電子商取引やそのためのソフトウェアのカテゴリを示すことが多い。
Comet (コメント)	ブラウザを使用してリアルタイム型の通信を実現するための技術の呼称。
CPU	<b>Central Processing Unit</b> の略。コンピュータの中央処理装置。メモリに格納されたプログラムコードを読み取ってデータの計算、入出力などの処理を行う。
C言語	世界的に広く普及しているコンピュータプログラミング言語の一つ。ISO(国際標準化機構)やJIS(日本工業規格)でも標準として採用されている。1972年にBrian Kernighan氏とDennis Ritchie氏によって開発された。
EAI	<b>Enterprise Application Integration</b> の略。企業内の情報システム連携や統合を行うことまたはそれを実現するためのソフトウェアのカテゴリ名称。
ERP	<b>Enterprise Resource Planning</b> の略。企業内の資源(Resource)を全体統合的に管理することで経営の全体最適を求めるソフトウェア。代表的なものに独SAP社の「SAP R/3」がある。
FDXS	<b>Financial Data eXchange Standard</b> の略。金融決済のための通信規約。インターネット銀行をはじめ公営競技や消費者金融など24時間リアルタイム決済が必要な場面に採用されている。XML※を使用し、暗号化や送達確認など信頼性向上のための機能を有する。
GUI	<b>Graphical User Interface</b> の略。コンピュータの操作方法の一つで、グラフィックを多用し、そのグラフィックに対してマウスなどの位置指定機器を使用して操作する。
HTML	<b>Hyper Text Markup Language</b> の略。ブラウザで表示するWebページを記述するための標準のデータ形式。現W3C※のディレクターであるTim Berners-Lee氏によって1990年に開発された。
HTTP	<b>Hyper Text Transfer Protocol</b> の略。HTML※をインターネット上で伝送するために開発された通信プロトコル※。現在では、HTMLに限らずさまざまなデータ形式を伝送するプロトコルとして使用されている。現W3C※のディレクターであるTim Berners-Lee氏によって1990年に開発された。
ICEC (アイセック)	<b>Infoteria Certified Education Center</b> の略。当社が認定したパートナー企業が運営する全国の教育センターであり、当社が企画・開発したXML教育コースを開催する資格を持つ。
Java (ジャバ)	世界的に広く普及しているコンピュータプログラミング言語の一つ。米Sun Microsystemsによって1995年に開発された。
MDM	<b>Master Data Management</b> の略。社内外の散在する各情報システムの基本となるデータを統一的に管理・運用すること。または、そのためのソフトウェア。
OEM	相手先企業の商標（ブランド）をつけて販売される完成品や半成品の受注生産。相手先ブランド生産。相手先商標製品製造。

用語	解説・定義
OS	<b>Operating System</b> の略。日本語では「基本ソフトウェア」とも呼ばれ、キーボード入力や画面出力といった入出力機能やディスクやメモリの管理など、多くのソフトウェアで共通して利用される基本的な機能を提供し、コンピュータシステム全体を管理するソフトウェア。代表的なものに米Microsoft社の「Windows」、米Apple社の「Mac OS」、オープンソースソフトウェア※の「Linux」などがある。
RosettaNet (ロゼッタネット)	電子電気機器業界におけるインターネットを通じた商取引のための国際的な標準仕様及びその標準化および推進を行う団体。
SaaS (サーズ)	<b>Software as a Service</b> の略。ソフトウェアそのものをインターネット上に置いて、プロダクトとしてではなくサービスとして提供すること。課金の方法も導入時に一括ではなく、月額使用量や従量による課金が一般的。
SI	システムインテグレーション( <b>Systems Integration</b> )※の略。
SOA	<b>Service Oriented Architecture</b> の略。企業内外の各機能を情報システムにおける「サービス」として扱うことで、環境の変化に即応できる企業システムを構築するためのアーキテクチャ※。XML※は、SOAの重要な要素であるWebサービス※を実現する基本技術である。
W3C	<b>World Wide Web Consortium</b> の略。HTML※やXML※などインターネット技術の標準化を行っている組織。
Web 2.0	最近インターネット上で起こっている新しい潮流の総称。インターネット上のサービスを、提供者から一方的に提供するのではなく、使用者側が参加できたり、使用者側が必要な形にサービスを組み合わせたり加工することができるものが特徴の一つと言われている。
Webサービス	インターネット標準技術を用いベンダーやOSの違いを超えて企業内外のシステム連携を実現する仕組み。主としてXML※とHTTP※を使用する。
XBRL	<b>eXtensible Business Reporting Language</b> の略。企業財務情報をXML※で記述するための仕様。全世界での採用が進んでおり、国内でも東京証券取引所（企業情報開示）、国税庁（納税申告）、日本銀行（財務報告）などでの採用が進んでいる。
XML	<b>eXtensible Markup Language</b> の略。平成10年2月にW3C※で勧告された標準データ仕様。データにタグ付けをすることで、データ自身に意味づけを記述できるため、コンピュータと人間の双方がその内容を理解することができる。特定のOS※、アプリケーション、ベンダーなどに非依存であることが特徴。現在では企業間電子商取引からブログ※まで広く普及している。
XSLT	<b>eXtensible Stylesheet Language Transformation</b> の略。XML※のデータを他の構造や他の形式に変換するための技術。
アーキテクチャ	〔Architecture〕構造。基本設計。設計思想。
アイコン	コンピュータで、ファイルの内容やプログラムの機能などを絵文字にしてディスプレイ上に表示したもの。
アセンブラ	〔Assembler〕コンピュータが直接実行できる命令と1対1に対応したプログラミング言語で書かれたソースコード※を、コンピュータが直接実行できる命令に変換するソフトウェア。
アフィリエイト	〔Affiliate〕インターネット上の物販において、その紹介や誘導を行った者が物販の販売代金に応じた成果報酬を得ることのできる仕組み。
イントラネット	〔Intranet〕インターネット標準の技術を用いて構築された企業内ネットワークとそのネットワーク上で稼動するアプリケーションソフトウェア。主としてブラウザを端末として使用する。

用語	解説・定義
オープンソースソフトウェア	〔Open Source Software〕 OSSと略されることもある。ソースコード※が広く一般に開示され、多くのエンジニアのボランティアで開発しているソフトウェアまたはその仕組み。無償で提供されることが多い。
オンサイトサポート	〔On-Site Support〕 情報システムが設置されている現場に出向いてサポート作業を行うこと。
クライアント	〔Client〕 ビジネス現場の人間が直接操作するコンピュータで、特にサーバーに繋がって機能する端末を指す。「パソコン」と呼ぶこともある。
グラフィカル・ランゲージ	〔Graphical Language〕 アイコンを並べ繋いでシステムを構築する開発手法。Java※やC言語※などのように文字のみでソースコード※を書くのではなくグラフィックを使ってプログラムを書く。
コーディング	〔Coding〕 アセンブラ※、C言語※、Java※など文字を使用したソフトウェア開発作業の総称。
サーバー	〔Server〕 情報システムにおいて、クライアント※に対し、データや機能を提供するコンピュータ。
システムインテグレーション	〔Systems Integration〕 さまざまなソフトウェアやハードウェアを組み合わせて特定顧客のニーズに合わせたシステム構築を行うこと。
システムインテグレータ	〔Systems Integrator〕 さまざまなソフトウェアやハードウェアを組み合わせて特定顧客向けにシステム構築を行う企業。
ソーシャルカレンダー	個人の予定、社内の予定、特定のグループの予定、インターネット上に公開された予定などさまざまな予定を組み合わせることで表示することが可能なカレンダーソフトウェア。
ソースコード	〔Source Code〕 人間が理解できるプログラミング言語を用いて書かれたソフトウェアの設計書。通常は、プログラミングの言語仕様と、その言語仕様に沿って書かれたソースコードをコンピュータが直接実行可能な形式にする変換ソフトウェアを含む。
ソリューション	〔Solution〕 顧客の特定の問題を解決するために、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなど必要なものを組み合わせて提供する情報システム。
チャット	〔Chat〕 ネットワークで接続されたコンピュータを使用して複数の人でリアルタイムに話をする仕組み。Chatの原意は「おしゃべり」。
テキスト言語	アセンブラ※、C言語※、Java※などのように、文字のみでプログラムを記述するコンピュータ言語。
ブログ	〔Blog〕 インターネット上で特定の人が日記や論評などを一定の頻度で公開しているWebサイト。一般的にブログ用ソフトウェアやブログサービスを使用して書かれたものを言い、HTML※だけでなくXML※によるデータ配信や、トラックバックと呼ばれる自動リンク機能の特徴とする。
プロトコル	〔Protocol〕 ネットワークを介してコンピュータ同士が通信を行うために、あらかじめ相互に合意した通信手順。
マッシュアップ	〔Mash up〕 Web 2.0※のキーワードの一つ。複数の情報やサービスを組み合わせることで使用すること、またはそのためのサービス。
ミッションクリティカル	〔Mission Critical〕 極めて重要な任務のこと。例えば、企業において金銭にまつわるシステムや機密性の高いデータ処理で問題が発生すると巨額の損失や、企業信用が失墜したりすることがある。このような業務を行うためのシステムには、極めて高い信頼性や耐久性が求められ、このような性能・性質をミッションクリティカルと呼ぶ。
ミドルウェア	〔Middleware〕 中間に入るソフトウェア。例えば、基幹システムとユーザーシステムの間に入るソフトウェアや、複数の業務システム間に入るソフトウェアのことを指す。

用語	解説・定義
モジュール	〔Module〕 ソフトウェア部品。
ユーザーインターフェイス	〔User Interface〕 アプリケーションソフトウェアを人間が操作する方法。同じ機能でもユーザーインターフェイスが違うだけで操作性や効率が大きく異なることがある。

2007年11月9日版